

東京大学附属病院に入院された患者さんまたはご家族の方へ

入院前支援の効果に関する研究の実施について

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 高齢者在宅長期ケア看護学分野では、入院・退院で療養場所が変わる際に、患者さんに必要な看護がとぎれることなく提供されるよう、入院前の支援に関する研究を行っています。

【研究課題】

「入院前支援の効果について；後ろ向き縦断観察的研究」（審査番号2020169NI）

【研究期間】

承認日から 2025 年 7 月 31 日まで

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科

研究責任者 山本則子

東京大学大学院医学系研究科 健康科学看護学専攻

高齢者在宅長期ケア看護学 教授

担当業務：研究全般における助言・指導

連絡担当者 加茂唯子

東京大学大学院医学系研究科 健康科学看護学専攻

高齢者在宅長期ケア看護学 修士課程 2 年

担当業務：連絡、データ解析

【対象となる方】

2015 年 1 月 1 日 ～ 2020 年 3 月 31 日の間に東京大学医学部附属病院に予定入院をされた方。入院した時に 20 歳以上だった方。

入院前支援は入院の予定が決定した患者さんに実施することから、上記の方を対象者とさせていただきます。

【研究の意義】

現在実施されている入院前支援の効果を知ること、入院前支援のあり方について見なおすことができます。これにより、入院の予定が決定した患者さんが、安全に配慮しながらスムーズに入院・退院できるよう、より適した入院前支援を提供できるようになる可能性があります。

【研究目的】

電子カルテ情報を解析することで、入院前支援の実態と患者さんへの影響を検討することを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療で電子カルテに記録されている情報を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の取り扱いについて】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの情報・データ等は、解析する前に、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において、鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。

この研究のためにご自分（あるいはご家族・代理人委任者）のデータを使用してほしくない場合は下記の問い合わせ先に 2020 年 12 月 31 日までにご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌、国内及び海外のデータベース等で公表します。

収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後には、復元不可能なようにデータを破壊処理することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

この研究に関する費用は、勇美記念財団助成金から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はありません。

2020 年 9 月

【問い合わせ先】

連絡担当者：加茂唯子

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院医学系研究科・医学系研究科
健康科学看護学専攻 高齢者在宅長期ケア看護学

電話：03-5841-3508 FAX：03-5841-3502

e-mail：yuiko-kamo@umin.ac.jp